

渇水対策について

～「中津市渇水対策本部」(本部長：中津市長)を設置～

山国川流域における梅雨明け以降の少雨の影響で、耶馬溪ダムの貯水率が低下しており、今後もきびしい状況が続くことが予想されます。

このため、8月30日(木)午前10時から国土交通省九州地方整備局山国川河川事務所において、『山国川中下流域水利用連絡協議会』の委員会が開催され、今後の対策について協議が行われ、取水制限の措置が決定されました。

中津市においても、当協議会の取水制限の決定を受けて、本日(8/30)午後1時に、「中津市渇水対策本部」(本部長：中津市長)を設置、第1回目の本部会議を開催しました。

■「山国川中下流域水利用連絡協議会」委員会による取水制限の措置が決定

○上水道・・・20%の取水制限

○工業用水・・・75%の取水制限

○農業用水・・・30～40%の取水制限

※参考

・平成28年渇水における委員会決定事項

(ダム貯水率が40%を下回った場合) ○上水道・・・15%の取水制限

○工業用水・・・75%の取水制限

○農業用水・・・30～40%の取水制限

※この時の決定事項は、委員会開催後に雨が降ったため実施に至りませんでした。



『山国川中下流域水利用連絡協議会』の委員会の決定を受けて

平成30年8月30日(木)

「中津市渇水対策本部」(本部長：中津市長)を設置

□第1回 中津市渇水対策本部会議を開催

◇開催日時：H30. 8. 30(木) 13時～

◇協議事項：現在の状況、今後の渇水対策等について(別紙のとおり)

※参考

■「山国川中下流域水利用連絡協議会」とは

山国川の渇水時における耶馬溪ダム下流の関係利水者間の水利使用の連絡及び調整を円滑に行い、もって合理的な水利使用の推進を図ることを目的に設置された協議会で、国及び地方公共団体、水利組合等により組織され、国土交通省山国川河川事務所に事務局が設置されています。

上水道の渇水対策について

1. 耶馬溪ダムの貯水状況について

- ・貯水率：36.4%（8月29日 19:00時点）*耶馬溪ダム利水容量 980 万 m^3
- ・流入量：0.43 m^3/s
- ・流出量：2.34 m^3/s

2. 山国川中下流域水利用連絡協議会の経過

- ・8月9日(木)14:00 代表幹事会開催
8/9 13:00 時点の耶馬溪ダム貯水率が 68.8%まで低下、降雨状況及び耶馬溪ダムの状況を勘案し、自主節水の取り組みを決定
- ・8月30日(木)10:00 委員会開催
委員会における決定事項（別紙資料）

3. 中津市水道浄水施設の取水状況（8月1日～8月28日）

- ◇平均取水量：18,653 $\text{m}^3/\text{日}$ （取水率：70.4% 水利権 26,500 $\text{m}^3/\text{日}$ ）
- ◇最大取水量：20,030 $\text{m}^3/\text{日}$ （取水率：75.6%）
- ◇最小取水量：17,337 $\text{m}^3/\text{日}$ （取水率：65.4%）

<参考：平成30年7月集計>

- ・平均取水量：18,340 $\text{m}^3/\text{日}$ （取水率：69.1%）
- ・最大取水量：20,202 $\text{m}^3/\text{日}$ （取水率：76.2%）
- ・最小取水量：14,260 $\text{m}^3/\text{日}$ （取水率：53.8%）

<参考：平成29年8月集計>

- 18,377 $\text{m}^3/\text{日}$ （取水率：69.3%）
- 20,011 $\text{m}^3/\text{日}$ （取水率：75.5%）
- 16,466 $\text{m}^3/\text{日}$ （取水率：62.1%）

4. 上下水道部における現在の取組み及び今後の取組み予定

<○現在の取組み状況>

- ①広報車による節水の広報活動（8/10（金）から実施中 17:00～19:00）
- ②中津市ホームページでの節水のお願い
- ③節水のぼり旗の掲揚
- ④NOAS FM出演による節水広報

<◎今後の広報体制（追加事項）>

- ①NOAS FMへ節水の呼びかけの広報を依頼（8/30～）
- ②大口利用者へ節水ステッカーを配布（8/30～）
- ③旧中津市内の町内放送で節水の呼びかけを依頼（8/31～）
- ④各小中学校へ節水ステッカー配布（旧中津市内17校）（8/31～）
- ⑤各公共施設、商業施設へ節水ステッカーを配布（8/31～）
- ⑥旧中津市内に節水を呼び掛けるビラを全戸配布（市報 9/15号）

雨不足による水稲渇水状況について

(農政振興課)

【現 状】

中津市内においては、平成30年7月7日以降まとまった降雨がない状況が続いています。

水稲管理について、各支所に地域の状況確認を行ってきたところですが、三光地区において、渇水に対する水稲被害の発生が懸念されています。

三光地区以外では、耶馬溪地区において1地域（水中ポンプで対応中）で水不足が発生している状況です。



西秣長谷地区ため池



上深水・下深水地区ため池

【これまでの対策】

平成30年7月26日中津市ホームページにて、高温・小雨に伴う農作物等の被害防止に向けた対策を掲載しています。

三光地区において、水量が少ない地域では過去の渇水対策で設置したボーリング施設や既設のポンプアップ施設を活用し、更に当番制にて水田への通水を行うなどの対応を行っています。

また、平成30年8月28日より応急的な対応として、三光地区小学校2校（山口小学校、秣小学校）のプールの水をため池に放流するなどの対策をとっているところです。

【今後の対応】

今後、1週間～10日間以内に雨が降らなければ、各地区での水稲に対する干ばつが予想されるため、渇水対策に対応する水中ポンプの借り上げやそれに伴う経費について、支援する方向で協議を進めていきたいと考えています。

また、8月31日に三光地区の深水小学校のプールの水をため池に放流する対策を予定しています。